



峡南北部地域道路ネットワーク研究会の概要

R7.5 現在



●研究会設立趣旨（市川三郷町・身延町・富士川町・山梨県で構成）

- 背景** 令和3年8月に中部横断道が全線開通し、峡南地域の道路ネットワークの必要性が高まっている。
同月に国道300号の土砂崩落発生に伴う長期間の通行止めにより、強靱な道路ネットワークの重要性を再認識。
- 目的** 峡南北部地域にとって必要な道路ネットワークの在り方を議論する。

●全3回開催

- ✓第1回：研究会の目的と目標の共有
- ✓第2回：現状の課題整理と最新の交通データの確認
- ✓第3回：峡南地域のネットワーク現況分析と課題整理

峡南地域の課題

- ① 中部横断道全線開通に伴い、一般道路の交通量が減少し、人口減少加速化、観光入込客数減少により新規道路計画の整備効果は低く、新規道路計画の優先順位が付けづらい状況である。
- ② 3町のまちづくりの推進による峡南地域の活性化が必要であり、まちづくり政策と地域公共交通対策が相互に連携し、両者を一体として行う取り組みを進めることが重要となる。

●人口減少の加速化

- ✓R22年（将来推計）3町合計の人口は**51%減少**（H12年比）見込みである（県全体は約23%減少）。
- ✓県の人口が47年ぶりに79万人を割り込み、**峡南地域の人口減少の加速化も深刻**であり、過疎化が進むなかで新たな道路整備の必要性が問われる。

●観光入込客数の減少

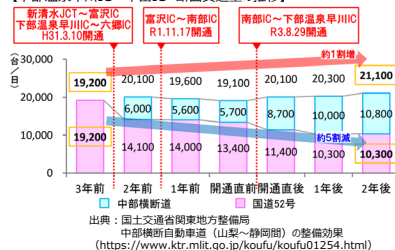
- ✓コロナ禍以降回復傾向ではあるが、峡南地域の観光入込客数は県全体の約6%に留まる。隣接する富士・東部圏域は県全体の50%を越えており、峡南地域へ来訪者を誘導するために**峡南地域のより一層の魅力向上を図ることが必要**である。

●一般道路の交通量減少

- ✓中部横断道開通後の下部温泉早川IC～中富IC間の断面交通量は約1割増加しているが、国道52号の交通量は約5割減少している。
- ✓**一般道路の交通量は減少傾向**であり、中部横断道開通の整備効果は非常に大きい。

- ✓管内路線の交通量は2,000台/日以下の路線が多くを占めており、さらなる交通量の減少により、**新規道路計画の事業化のハードルは高くなる。**

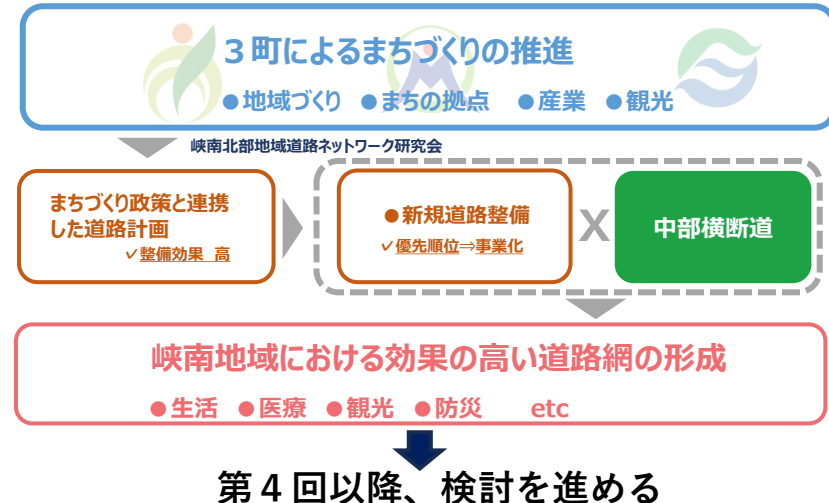
【下部温泉早川IC～中富IC 断面交通量の推移】



●峡南地域の課題

- ✓人口減少の加速化、観光入込客数の減少、一般道路の交通量が減少する中で、管内の要望路線、構想路線の整備効果が上らず、**道路整備の優先順位が付けづらい状況**となっている。
- ✓中部横断道開通効果を最大限に享受するための道路網を形成するためには、**3町のまちづくりの推進**による峡南地域の活性化が必要であり、**まちづくり政策と地域公共交通対策が相互に連携**し、両者を一体として行う取り組みを進めることがより一層重要となる。

●まちづくり政策と連携した道路網の形成



道路ネットワーク現況分析と課題整理

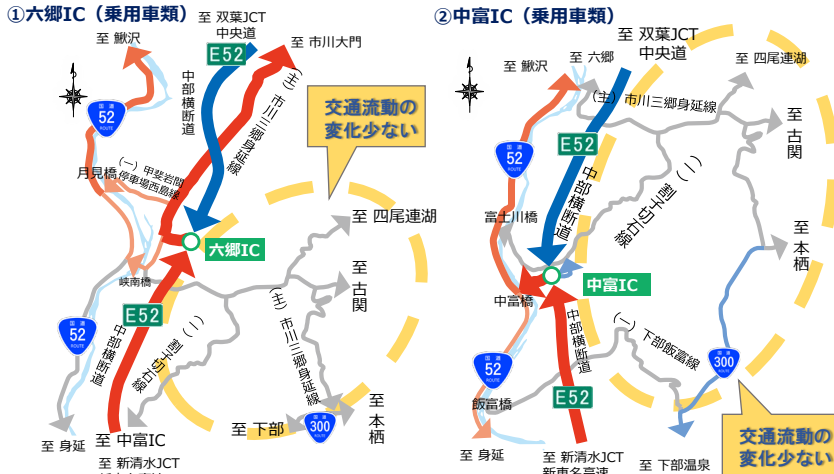
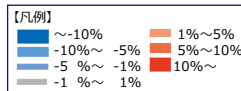
- ① 中部横断道は国道52号と合わせて南北方向の交通軸を担っている。インターアクセスのための東西方向の交通軸に課題がある。
- ② 山間部では通行規制時の代替路が無く、災害時に強い道路の構築、リダンダンシー確保のための道路網の整備が必要である。

道路ネットワーク現況分析①

●ETC2.0プローブデータ分析（抜粋）

✓ 中部横断道開通後、南北方向の通過交通は多いが、東西方向への峡南地域へ立ち寄り寄る車両の流動の変化はなく、中部横断道開通による交通流動の波及効果がみられない。

データ典拠
ETC2.0プローブデータ
全線開通前：R3.7（平日）
全線開通後：R5.12（平日）
※各ICの出口を通過した車両を集計



道路ネットワーク現況分析②

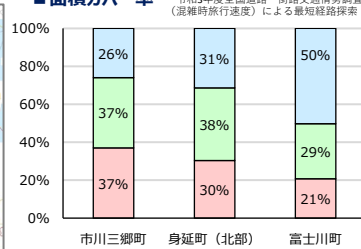
●移動時間圏域

- ✓ 中部横断道開通により南北方向の交通軸が整備された。
- ✓ インターアクセスに時間を要するエリアが東西方向に多く残っている。

■ICからのカバー圏域



■面積カバー率



【凡例】

- IC 0～10分圏
- IC 10～20分圏
- IC 20分以上圏
- IC から10分～20分以上
IC、医療機関、観光施設への
アクセスに時間を要するエリア

道路ネットワーク現況分析③

●防災

- ✓ 管内14路線で雨量規制等による通行規制を実施している。
- ✓ 各路線において防災事業を進めているが、要対策箇所が多く、規制解除まで多くの時間と予算を要する。
- ✓ 引き続き災害時に強い道路の構築のため、防災事業の推進が必要。



【国道300号の落石状況(R5年11月)】

■路線別総規制時間・防災カルテ要対策箇所数一覧（H24～R4累計）

No	路線名	規制雨量 (mm)	規制時間 (時間)	規制区間 延長 (km)	要対策 箇所数 (箇所)
1	国道300号	80	5397	13.8	24 (19)
2	(主) 笛吹市川三郷線	80	2416	7.2	13 (7)
3	(一) 板代常葉線	80	704	4.9	29 (15)
4	(一) 平林青柳線	80	499	3.2	15 (8)
5	(一) 高下鯉川線	80	481	1.2	4 (3)
6	(一) 下部飯富線	80	424	2.3	6 (3)
7	(一) 遅沢静川線	80	388	3.2	7 (7)
8	(主) 十谷鬼島線	80	382	5.5	26 (26)
9	(一) 四尾連湖公園線	80	381	8.8	9 (9)
10	(一) 湯之奥上之平線	80	379	2.8	8 (6)
11	(一) 折門古閑線	80	353	5.4	22 (14)
12	(一) 山保久那土線	80	282	6.8	22 (20)
13	(一) 割子切石線	80	205	0.9	3 (1)
14	(主) 市川三郷身延線	100	147	3.5	12 (10)

出典：山梨県峡南建設事務所提供資料（）内は雨量規制基準区間内における値
※規制時間には雨量規制のほか、落石等による通行規制も含む。

道路ネットワークの課題整理

●道路ネットワークの課題一覧

●交通流動
新たな拠点づくりによる地域の活性化、観光客の増加、企業立地の促進等のために各町が地域の特色を活かしたまちづくりを推進し、峡南地域の魅力向上を図ることが望まれる

●ICアクセス
中部横断道の効果を最大限に享受するため、各ICへのアクセス性が向上する道路網の整備

●生活①
生活拠点となる役場へのアクセス性が向上する道路網の整備

●生活②
安心安全な道路環境の整備

●医療①
地域医療を担う病院、診療所へ迅速に移動できる道路網の整備

●観光①
ICを拠点に峡南地域の観光周遊性が向上する道路網の整備

●観光②
他の圏域からの周遊観光を促進する道路網の整備

●防災①
災害時に強い道路の構築

●防災②
リダンダンシーを確保するための道路網の整備

